

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-354310

(43)Date of publication of application : 25.12.2001

(51)Int.Cl.

B65G 1/137

G06F 17/60

G07G 1/00

G07G 1/12

(21)Application number : 2000-177249

(71)Applicant : KAI:KK

(22)Date of filing : 13.06.2000

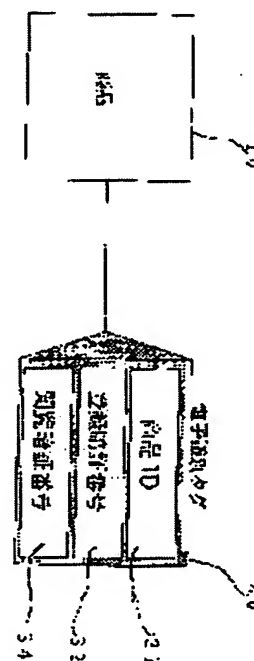
(72)Inventor : HORISAWA TOMOYOSHI
YAMAMOTO KOJI
KOBAYASHI MASA HARU
HARADA KENJI

(54) DISCRIMINATION METHOD FOR TRUE MERCHANDISE AND COUNTERFEIT DISTRIBUTION PREVENTING SYSTEM IMPLEMENTING THE METHOD

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a method for surely discriminating brand-name goods from the copies and imitations of the goods requested in a distribution process by consumers in order to prevent the damage by repeated manufacture and sales of the copies and imitations of the brand-name goods using the trade value because the brand-name goods are generally good in quality and convenient so that they are no sale at a high price.

SOLUTION: In this counterfeit distribution preventing system, electronic identification tags formed by a merchandise ID attached to the merchandise in such a state that the identification number can be recognized by anyone and a registered password number is registered in a data base, a the electronic identification tag is checked in the respective stage of the merchandise distribution process from the production of the merchandise to a consumer through distribution to discriminate whether the merchandise is a true merchandise or an imitation, whereby the copies and imitations of the merchandise can be surely discriminated.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2001-354310
(P2001-354310A)

(43) 公開日 平成13年12月25日 (2001. 12. 25)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テマコード* (参考)
B 6 5 G 1/137		B 6 5 G 1/137	A 3 E 0 4 2
G 0 6 F 17/60	1 1 8	G 0 6 F 17/60	1 1 8 3 F 0 2 2
G 0 7 G 1/00	3 1 1	G 0 7 G 1/00	3 1 1 Z 5 B 0 4 9
1/12	3 2 1	1/12	3 2 1 Z

審査請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願2000-177249 (P2000-177249)

(22) 出願日 平成12年6月13日 (2000. 6. 13)

(71) 出願人 398047054

株式会社カイ

東京都国分寺市西恋ヶ窪2-2-1 ビー
ンズ・アネックス西国分寺2F

(72) 発明者 堀澤知義

東京都国分寺市西恋ヶ窪2-2-1 ビー
ンズ・アネックス西国分寺2F 株式会
社カイ内

(74) 代理人 100066924

弁理士 小沢 信助

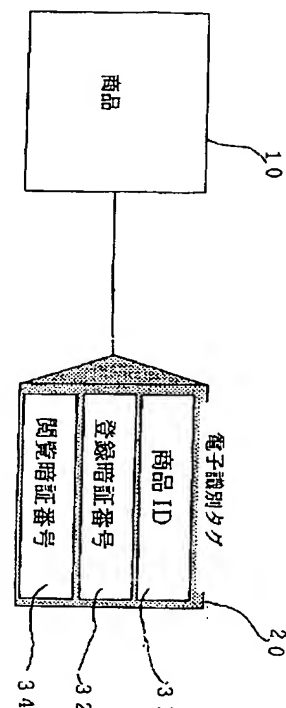
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 真正商品の識別方法とこれを実施した偽造商品流通防止システム

(57) 【要約】

【課題】 ブランド商品は、一般にその品質がすぐれており使い勝手等が良いために高い価格で販売されているため、その商品力を利用することにより、不当な利益をうるコピーや類似品の製造販売が繰り返し行われており、その被害を防ぐために流通過程や消費者が、商品のコピーや類似品を確実に識別するための方法の実現が要望されている。

【解決手段】 本発明は、誰でもその識別記号が認識できる状態で商品に付けられる商品IDと商品の登録暗証番号よりなる電子識別タグをデータベースに登録し、商品の生産から流通を通して消費者に至る商品流通過程の各段階において電子識別タグをチェックすることにより商品が真正商品であるか類似品であるかの判別を行うようにして、商品のコピーや類似品を確実に判別出来るようにしたものである。



【特許請求の範囲】

【請求項１】商品個別につけられた独自の識別記号で誰でもその識別記号が認識できる状態で商品に付けられる商品ＩＤと登録暗証番号とにより構成される電子識別タグを、商品管理情報処理装置のデータベースに登録し、商品の生産から流通を通して消費者に至る商品流通過程の各段階において商品管理情報処理装置の電子識別タグの商品ＩＤと登録暗証番号の一致をチェックすることにより商品が真正商品であるか類似品であるかの判別を行うようにした真正商品の識別方法。

【請求項２】商品個別につけられた独自の識別記号で誰でもその識別記号が認識できる状態で商品に付けられる商品ＩＤと商品の情報を更新登録するための登録暗証番号とにより構成される電子識別タグを、商品管理情報処理装置のデータベースに登録し、商品の生産から流通を通して消費者に至る商品流通過程の各段階において商品管理情報処理装置の電子識別タグの登録暗証番号を更新するようにして、商品管理情報処理装置に登録された電子識別タグをチェックすることにより商品が真正商品であるか類似品であるかの判別を行うようにした真正商品の識別方法。

【請求項３】商品個別につけられた独自の識別記号で誰でもその識別記号が認識できる状態で商品に付けられる商品ＩＤと商品の情報を更新登録するための登録暗証番号とにより構成される電子識別タグを、商品管理情報処理装置のデータベースに登録し、商品の生産から流通を通して消費者に至る商品流通過程の各段階において商品管理情報処理装置の電子識別タグの登録暗証番号を更新するようにして、商品管理情報処理装置にたいして、その商品ＩＤからデータベースに登録されている暗証番号を検索し、商品管理情報処理装置のデータベースに登録されている登録暗証番号が商品の登録暗証番号と一致しているかチェックすることにより商品が真正商品であるか類似品であるかの判別を行うようにした真正商品の識別方法。

【請求項４】商品個別につけられた独自の識別記号で誰でもその識別記号が認識できる状態で商品に付けられる商品ＩＤと登録暗証番号とにより構成される電子識別タグ、前記電子識別タグを登録するデータベースを持った商品管理情報処理装置、前記商品管理情報処理装置に登録されている電子識別タグ情報をチェックするための情報端末、よりなり情報端末より商品管理情報処理装置にたいして、その商品ＩＤからデータベースに登録されている暗証番号を検索し、商品管理情報処理装置のデータベースに登録されている登録暗証番号が商品の登録暗証番号と一致しているかチェックすることにより商品が真正商品であるか類似品であるかの判別を行うようにした偽造商品流通防止システム。

【請求項５】商品個別につけられた独自の識別記号で誰でもその識別記号が認識できる状態で商品に付けられる

商品ＩＤと商品の情報を更新登録するための登録暗証番号とにより構成される電子識別タグ、前記電子識別タグを登録するデータベースを持った商品管理情報処理装置、前記商品管理情報処理装置に登録されている電子識別タグ情報を更新するための情報端末、よりなり商品の生産から流通を通して消費者に至る商品流通過程の各段階において商品管理情報処理装置の電子識別タグの登録暗証番号を更新するようにして、情報端末より商品管理情報処理装置にたいして、その商品ＩＤからデータベースに登録されている暗証番号を検索し、商品管理情報処理装置のデータベースに登録されている登録暗証番号が商品の登録暗証番号と一致しているかチェックすることにより商品が真正商品であるか類似品であるかの判別を行うようにした偽造商品流通防止システム。

【請求項６】商品個別につけられた独自の識別記号で誰でもその識別記号が認識できる状態で商品に付けられる商品ＩＤと商品の情報を更新登録するための登録暗証番号と閲覧暗証番号の三つの要素により構成される電子識別タグ、前記電子識別タグを登録するデータベースを持った商品管理情報処理装置、前記商品管理情報処理装置に登録されている電子識別タグ情報を更新するための情報端末、よりなり商品の生産から流通を通して消費者に至る商品流通過程の各段階において商品管理情報処理装置の電子識別タグの登録暗証番号を更新するようにして、情報端末より商品管理情報処理装置にたいして、閲覧暗証番号を使用してその商品ＩＤからデータベースに登録されている閲覧暗証番号を検索し、商品管理情報処理装置のデータベースに登録されている閲覧暗証番号が商品の閲覧暗証番号と一致しているかチェックすることにより商品が真正商品であるか類似品であるかの判別を行うようにした偽造商品流通防止システム。

【発明の詳細な説明】

【０００１】

【発明の属する技術分野】本発明は、商品のコピーや類似品を識別するための真正商品の識別方法とこれを実施した偽造商品流通防止システムに関する。本発明の真正商品の識別方法とこれを実施した偽造商品流通防止システムは、流通商品個々に唯一の電子識別タグをつけることにより、類似品を消費者が誤って購入する等の状況を未然に防止するとともに、商品管理を容易にし流通の信頼性、円滑性の向上を目的とするものである。

【０００２】

【従来の技術】ブランド商品は、一般にその品質がすぐれており使い勝手等が良いために高い価格で販売されている。このため、ブランド商品の商品力を利用することにより、不当な利益をうるブランド商品のコピーや類似品の販売が繰り返し行われており、中には真正商品と区別が付き難い精巧なコピーや類似品も販売されている。ブランド商品のコピーや類似品が販売されると、これを真正商品と信じて購入した消費者に損害を与えるだけで

なく、真正商品を製造販売している業者の信頼を損なうことになるので、各種の防止対策が提案され実行されているが、未だ商品のコピーや類似品を有効に防止する施策は実現されていない。

【０００３】

【発明が解決しようとする課題】このような状況において、消費者や流通過程において、商品のコピーや類似品を確実に識別するための方法の実現が要望されている。

【０００４】

【課題を解決するための手段】本発明は、商品個別につけられた独自の識別記号で誰でもその識別記号が認識できる状態で商品に付けられる商品ＩＤと登録暗証番号とにより構成される電子識別タグを商品管理情報処理装置のデータベースに登録し、商品の生産から流通を通して消費者に至る商品流通過程の各段階において商品管理情報処理装置に登録された電子識別タグをチェックすることにより商品が真正商品であるか類似品であるかの判別を行うようにした真正商品の識別方法とこれを実施した偽造商品流通防止システムを実現することにより、消費者や流通過程において類似品を誤って購入する等の状況を未然に防止するとともに、商品管理を容易にし流通の信頼性、円滑性の向上を図るようにしたのである。

【０００５】

【発明の実施の形態】

【実施例】図１は、本発明の偽造商品流通防止システムに使用される電子識別タグの構成を説明する説明図である。図１において、１０は本発明の電子識別タグの付けられる商品である。２０は電子識別タグである。電子識別タグ２０は、商品ＩＤ３１と、登録暗証番号３２と閲覧暗証番号３４の３つの要素により構成されている。商品ＩＤ３１は、その商品個別につけられた独自の識別記号であり、誰でもその識別記号が認識できる状態で商品に付けられる。登録暗証番号３２は、商品の情報をチェックしたり更新登録するための暗証番号である。閲覧暗証番号３４は、電子識別タグの情報を閲覧し所有者を確認するための暗証番号である。商品ＩＤ３１と、登録暗証番号３２と閲覧暗証番号３３は商品管理情報処理装置のデータベースにセットで登録される。商品管理情報処理装置のデータベースに登録された電子識別タグは、商品の生産から流通の過程、消費者に至る各段階において、商品管理情報処理装置に登録された電子識別タグをチェックすることにより商品が真正商品であるか類似品であるかの判別が行われる。従って、真正商品であるか類似品であるかの判別だけを行えば良い場合には、電子識別タグの閲覧暗証番号３４は省略することも出来る。

【０００６】図２は本発明の偽造商品流通防止システムの登録の動作を説明する説明図である。図２において、１は商品１０とこれに対応した電子識別タグ２０のセットされた商品パッケージである。２は商品１１とこれに対応した電子識別タグ２１のセットされた商品パッケージ

である。３は商品１２とこれに対応した電子識別タグ２２のセットされた商品パッケージである。４０は商品管理情報処理装置である。商品１０、１１、１２が生産されると、商品を生産したメーカーは対象商品１０、１１、１２の一つ一つに、個別の１値をもつ電子識別タグの２０、２１、２２のＩＤと登録暗証番号と閲覧暗証番号を決める。商品１０、１１、１２の電子識別タグが決まると、商品を生産したメーカーは、商品１０、１１、１２に、それぞれの商品の電子識別タグの２０、２１、２２の商品ＩＤが認識できる状態で付ける。

【０００７】又、商品を生産したメーカーは、商品管理情報処理装置４０のデータベースに、それぞれの商品１０、１１、１２の電子識別タグの２０、２１、２２の商品ＩＤと、登録暗証番号と閲覧暗証番号（又は、商品ＩＤと、登録暗証番号）をセットで登録する。真正商品とコピーや類似品の判別は商品管理情報処理装置にたいして、その商品ＩＤからデータベースに登録されている暗証番号を検索し、データベースに登録されている登録暗証番号が商品の登録暗証番号と一致しているかチェックすることにより行われる。真正商品には、商品を生産したメーカーが付けたその商品ＩＤに対応した唯一つの登録暗証番号を持っているので、これを確認することにより真正商品とコピーや類似品の判別が行われる。

【０００８】従って、その商品ＩＤに対応した登録暗証番号が一致している場合は真正商品と判定し、登録暗証番号が一致していない場合にはコピーや類似品であると判定する。尚、本発明で使用される登録暗証番号や閲覧暗証番号には、数字、文字列、記号等からなるものだけでなく、イメージ画像データ、音声データ等で作成された他人に知られない情報であればどのような物でも使用することが可能である。商品を生産したメーカーは、商品を商品に対応した電子識別タグのセットされた商品パッケージで流通段階の販売仲買業者に販売することにより、販売仲買業者は商品管理情報処理装置に対してその商品ＩＤに対応した登録暗証番号をチェックすることにより真正商品の判別を行うことが出来る。商品の流通においてはメーカーから消費者にわたるまでの商品流通過程において、販売仲買業者（卸売り、小売）を介することが多い。電子識別タグの商品ＩＤは、誰でもその識別記号が認識できる状態で商品に付けられているので、商品ＩＤとこれに対応した登録暗証番号のセットが固定している場合には、商品流通過程において、すでに販売済みの商品の商品ＩＤを付けたコピーや類似品が生産され、真正商品とコピーや類似品に同一の電子識別タグが付けられる危険がある。

【０００９】このような事態を防止するためには、商品流通の各段階において、商品ＩＤに対応する登録暗証番号等の情報を更新することが必要である。図３は、商品流通の各段階において、商品ＩＤに対応する登録暗証番号等の情報の更新を行う動作を説明する図である。図３

の（a）は、登録暗証番号等の情報のチェックを行う動作を説明する図、図3の（b）は、登録暗証番号の更新を行う動作を説明する図である。図3の（a）（b）において、20は商品パッケージの電子識別タグで、31は商品ID、32は登録暗証番号、33は更新された登録暗証番号である。40は商品管理情報処理装置である。商品管理情報処理装置40のデータベースには、それぞれの商品の商品IDと、登録暗証番号と閲覧暗証番号をセットで登録されている。50は販売仲買業者等の情報端末である。

【0010】商品管理情報処理装置40と販売仲買業者等の情報端末50とは、インターネット等の通信回線を介して接続されている。図3の（a）に示すように、商品を購入した販売仲買業者は情報端末50を用いて、製造メーカーの商品管理情報処理装置40と通信し、商品の電子識別タグ20に記載された商品ID31と登録暗証番号32を送信する。商品管理情報処理装置40は、この受け取った商品ID31から商品管理情報処理装置40のデータベースに登録している暗証番号を検索し、これが受信した登録暗証番号32と一致しているかチェックする。登録暗証番号が受信した登録暗証番号32と一致している場合は真正商品と判定されるが、登録暗証番号が受信した登録暗証番号32と一致していない場合には、その商品はコピーや類似品と判定される。

【0011】図3の（b）に示すように、商品管理情報処理装置40は、登録暗証番号が受信した登録暗証番号32と一致している場合は真正商品と判定し販売仲買業者の商品情報の更新登録を許可する。これにより、登録暗証番号32は登録暗証番号33に変更される。登録暗証番号の更新は、商品管理情報処理装置40が生成し、販売仲買業者等の情報端末50に通知する場合と、販売仲買業者等の情報端末50が決めた暗証番号を商品管理情報処理装置40へ通知しデータベースに登録する場合がある。又、商品の電子識別タグ20に登録暗証番号32と閲覧暗証番号34が記載されている場合には、商品管理情報処理装置40は、登録暗証番号32だけでなく、閲覧暗証番号34も閲覧暗証番号35に変更する。商品管理情報処理装置40は、販売仲買業者の更新登録の依頼を受託後、販売仲買業者の情報端末50に新しい登録暗証番号33と、閲覧暗証番号が記載されている場合には新しい閲覧暗証番号35を送信する。この結果、商品管理情報処理装置40は更新登録前の旧登録暗証番号32と閲覧暗証番号34は以後使用できなくする。商品管理情報処理装置40は登録暗証番号が受信した登録暗証番号32と一致しない場合は、コピーや類似品と判定し更新登録を拒否する。このようにして、商品の流通の各段階に於いて、商品管理情報処理装置40に対して商品の電子識別タグに記載された商品IDと登録暗証番号のチェックと更新の動作を行うことにより、流通過程において、商品のコピーや類似品を確実に識別すること

が出来る。

【0012】最終的に商品を購入する消費者も、上記の流通過程と同様に、小売業者や個人の情報端末を用い商品のコピーや類似品を確実に識別することが出来る。商品を購入した消費者は情報端末を用いて、製造メーカーの商品管理情報処理装置と通信し、購入した商品の電子識別タグに記載された商品IDと登録暗証番号を送信する。商品管理情報処理装置は、消費者より受け取った商品IDから商品管理情報処理装置のデータベースに登録している暗証番号を検索し、これが受信した登録暗証番号と一致しているかチェックする。商品管理情報処理装置は、登録暗証番号が消費者より受信した登録暗証番号と一致している場合は真正商品と判定し商品情報の更新登録を許可する。商品管理情報処理装置は、消費者の更新登録の依頼を受託後、消費者の情報端末に新しい登録暗証番号を送信する。これにより商品管理情報処理装置は更新登録前の旧登録暗証番号は以後使用できなくする。商品管理情報処理装置は消費者より受信した暗証番号が登録暗証番号と一致しない場合は、コピーや類似品と判定し更新登録を拒否する。このようにして、商品を購入した消費者も、商品管理情報処理装置40に対して商品の電子識別タグに記載された商品IDと登録暗証番号のチェックと更新の動作を行うことにより、商品のコピーや類似品を確実に識別することが出来る。

【0013】閲覧暗証番号は、商品が消費者の手に渡ったあと、オークション等で個人が売買する場合に使用される。消費者が、商品を売買する際、商品の購入希望者に対して、商品IDと閲覧暗証番号を伝達することにより、商品の購入希望者が、商品のコピーや類似品を確実に識別することが出来る。商品の購入希望者は、商品を売買する消費者より示された商品IDと閲覧暗証番号を、商品管理情報処理装置40に送信することにより、商品管理情報処理装置40は、この受け取った商品IDから商品管理情報処理装置40のデータベースに登録している閲覧暗証番号を検索し、これが受信した閲覧暗証番号と一致しているかチェックし、その結果を送り返すが閲覧暗証番号は変更されない。判定は、商品管理情報処理装置40が受信した閲覧暗証番号が一致している場合は真正商品と判定されるが、閲覧暗証番号が受信した閲覧暗証番号と一致していない場合には、その商品はコピーや類似品と判定される。尚、商品管理情報処理装置40と通信を行う情報端末50は、コンピュータや携帯電子情報端末のほか、電話、FAX、郵便等あらゆる相互通信情報メディアの端末を使用することが出来る。

【0014】

【発明の効果】以上の説明より明らかなように、本発明は、商品個別につけられた独自の識別記号で誰でもその識別記号が認識できる状態で商品に付けられる商品IDと商品の情報を更新登録するための登録暗証番号により

構成される電子識別タグを、商品管理情報処理装置のデータベースに登録し、商品の生産から流通を通して消費者に至る商品流通過程の各段階において商品管理情報処理装置の電子識別タグの登録暗証番号を更新するようにして、商品管理情報処理装置に登録された電子識別タグをチェックすることにより商品が真正商品であるか類似品であるかの判別を行うようにした真正商品の識別方法とこれを実施した偽造商品流通防止システムを実現したものである。このために、本発明により、消費者や流通過程において、商品のコピーや類似品を確実に識別することが可能になるので、類似品を消費者が誤って購入する等の状況を未然に防止するとともに、商品管理を容易にし流通の信頼性、円滑性の向上を図ることが出来る。

【図面の簡単な説明】

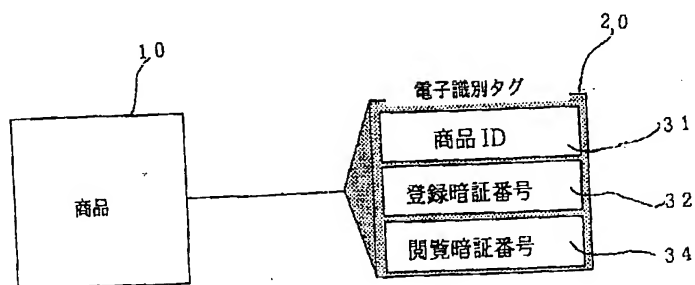
- 【図１】 本発明の偽造商品流通防止システムに使用される電子識別タグの構成を説明する説明図である。
 【図２】 本発明の偽造商品流通防止システムの登録の動作を説明する説明図である。
 【図３】 商品流通の各段階において、商品ＩＤに対応する登録暗証番号等の情報の更新を行う動作を説明する

図である。

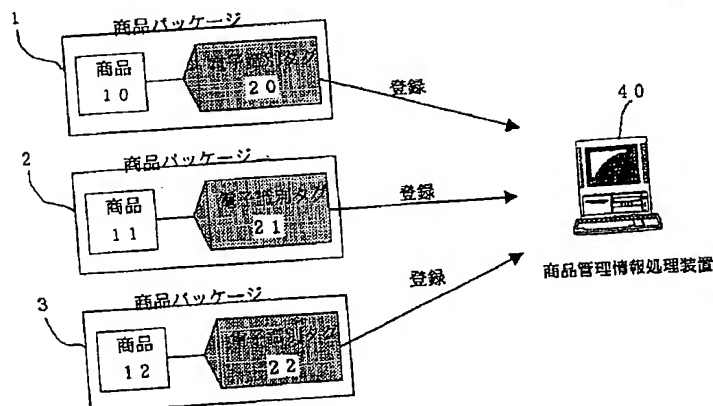
【符号の説明】

- １０、１１、１２・・・電子識別タグの付けられる商品、
 ２０、２１、２２・・・電子識別タグ、
 ３１・・・電子識別タグ２０の商品ＩＤ、
 ３２・・・電子識別タグ２０の登録暗証番号、
 ３３・・・電子識別タグ２０の更新された登録暗証番号、
 ３４・・・電子識別タグ２０の閲覧暗証番号
 ３５・・・電子識別タグ２０の更新された閲覧暗証番号
 １・・・商品１０とこれに対応した電子識別タグ２０のセットされた商品パッケージ、
 ２・・・商品１１とこれに対応した電子識別タグ２１のセットされた商品パッケージ、
 ３・・・商品１２とこれに対応した電子識別タグ２２のセットされた商品パッケージ、
 ４０・・・商品管理情報処理装置、
 ５０・・・販売仲買業者等の情報端末、

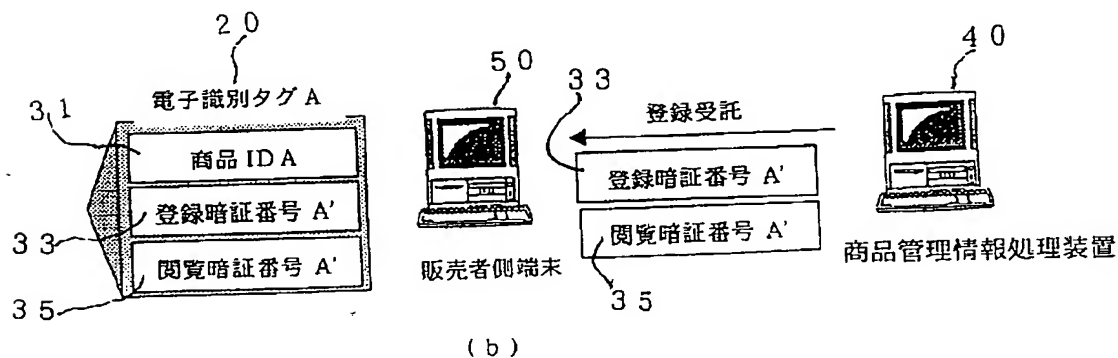
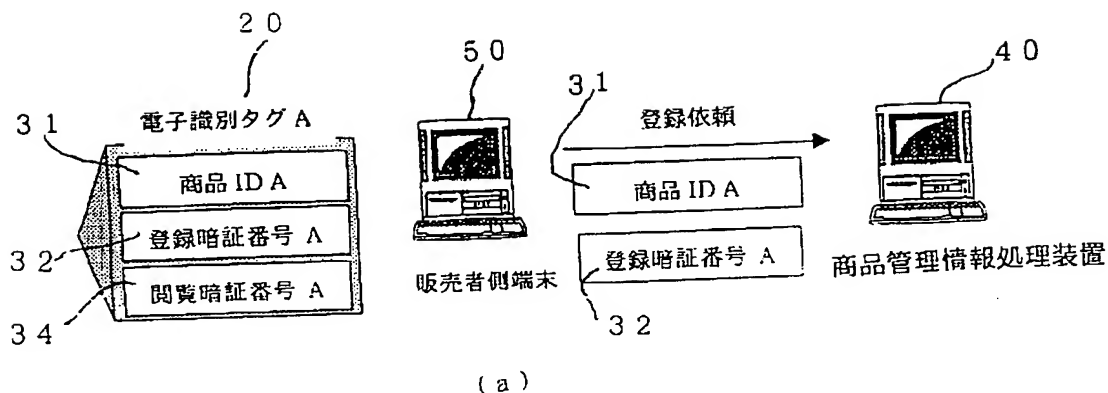
【図１】



【図２】



【図 3】



フロントページの続き

(72) 発明者 山本浩司
東京都国分寺市西恋ヶ窪 2-2-1 ビー
ンズ・アネックス西国分寺 2F 株式会社
カイ内
(72) 発明者 小林匡治
東京都国分寺市西恋ヶ窪 2-2-1 ビー
ンズ・アネックス西国分寺 2F 株式会社
カイ内

(72) 発明者 原田憲治
東京都国分寺市西恋ヶ窪 2-2-1 ビー
ンズ・アネックス西国分寺 2F 株式会社
カイ内
F ターム(参考) 3E042 CA10 CD02 DA10
3F022 MM03 MM07 MM11 PP04 QQ11
5B049 AA05 BB11 CC00 DD05 EE00
EE05